

令和3年度第3期高知県教育振興基本計画に関する取組(特別支援教育)の状況調査結果

高知県教育委員会
(令和3年9月1日段階)

校種		公立小学校 公立義務教育 学校前期	公立中学校 公立義務教育 学校後期	公立高等学校
	実施対象校数	187校	103校	52校
設問1	全ての教室で、子どもが落ち着き、集中して学習や生活に臨むことができるよう、必要な提示(情報)を精査し、黒板内は授業に不要なものが貼られていないといった環境づくりを行っている。	187校 100.0%	102校 99.0%	47校 90.4%
	設問2	全ての教室で、口頭による伝達だけでなく視覚化などの手立てがなされている。	182校 97.3%	98校 95.1%
設問3	全ての教室で、子どもがめあて達成へ向けて意欲的に学習することができるよう、動きのある活動を取り入れるなどメリハリのある授業づくりがなされている。	180校 96.3%	99校 96.1%	48校 92.3%
	設問4	学校経営計画において、校内支援会の日程、回数その他に特別支援教育に関する取組を記載している。	169校 90.4%	93校 90.3%
個別の指導対象児童学級画生、通級を級に除く	必要と考える児童生徒が在籍している学校	175校 93.6%	78校 75.7%	18校 34.6%
	うち、作成している学校	173校 98.9%	66校 84.6%	17校 94.4%
	必要と考える児童生徒数	2,270人 ※7.5%	606人 ※4.5%	102人 ※0.8%
	うち、作成し、校内支援会や職員会議などで情報共有を行いながら、組織的に指導や支援を実施している児童生徒数	1,785人 78.6%	472人 77.9%	87人 85.3%
個別の指導対象児童学級画生、通級を級に除く	必要と考える児童生徒が在籍している学校	91校 48.7%	46校 44.7%	15校 28.8%
	うち、作成している学校	75校 82.4%	31校 67.4%	10校 66.7%
	必要と考える児童生徒数	908人 ※3.0%	269人 ※2.0%	66人 ※0.5%
	うち、作成済みの児童生徒数	812人 89.4%	193人 71.7%	34人 51.5%
令和2年度末卒業生の引き	令和2年度末卒業生で、個別の指導計画の作成を必要とされていた児童生徒が在籍していた学校数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	142校 75.9%	81校 78.6%	11校 21.2%
	うち、『個別的教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を提供した学校数	125校 88.0%	67校 82.7%	6校 54.5%
	令和2年度末卒業生で、個別の指導計画の作成を必要とされていた児童生徒数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	670人 ※2.2%	374人 ※2.7%	22人 ※0.2%
	うち、『個別的教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を提供した児童生徒数	536人 80.0%	211人 56.4%	9人 40.9%
令和3年度入学生への引き	令和3年度入学生について、個別の指導計画の作成が必要な児童生徒が在籍している学校数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	138校 73.8%	88校 85.4%	19校 36.5%
	うち、『個別的教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を受け取った学校数	117校 84.8%	76校 86.4%	15校 78.9%
	令和3年度入学生について、個別の指導計画の作成が必要な児童生徒数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	531人 ※1.8%	393人 ※2.9%	67人 ※0.6%
	うち、『個別的教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を受け取った児童生徒数	371人 69.9%	295人 75.1%	41人 61.2%

※当該児童生徒の割合については、学校基本調査における5月1日段階の児童生徒数(小:30,327人、中:13,605人、高:12,130人)を母数に算出している。本調査における集計基準日は9月1日段階の為、この数値はあくまで参考値とする。